

エコアクション 21

環境活動レポート

対象期間

2023 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日

発行日 2024 年 8 月 1 日

改定日 2024 年 8 月 1 日



～環境対策へ貢献する～
東環工業株式会社

環境レポート体系

I. 組織概要	2～5
II. 実施体制	6
III. 環境方針	7
IV. 環境目標	8
V. 環境活動計画	9
VI. 実績	10
VII. 環境活動の取組み結果	11
VIII. 環境関連遵法性評価	12
IX. 代表者による全体の評価と見直し	13

I. 組織概要

1. 組織

1) 名称及び代表者

東環工業株式会社

代表取締役 田中 孝浩

2) 所在地

〒471-0017

愛知県豊田市寺部町5丁目500番地

3) 設立

1979年12月1日

4) 資本金

1000万円

5) 従業員数

18人(常駐作業者含)

6) 売上高

3億4千万円(第45期分)2023年4月～2024年3月

7) 事業活動の内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・工場及び住宅設備機器の維持・管理業務
- ・各種プラント維持・清掃・補修
- ・配管洗浄及び補修・カメラ調査
- ・高圧洗浄工事及びスチーム洗浄業務
- ・高速道路維持、清掃業務
- ・一般貨物自動車運送業

8) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 田中 孝浩

連絡・担当者 田中 翔大

TEL:0565-32-5814 FAX:0565-32-6791

MAIL:shota_t@tokan-industry.co.jp

2. 事業所

1. 全組織・全活動をエコアクション 21 の対象としています。

1) 本社 東環工業株式会社

住所：愛知県豊田市寺部町 5 丁目 500 番地 〒471-0017

TEL0565-47-5814 FAX0565-47-5816

敷地 2477.81 m² 事務所 505.26 m²

・2022 年 12 月より上記、新事務所へ移転

2. 一般貨物輸送事業 許可年月日 (中部運輸局)

平成 19 年 5 月 1 日

3. 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 加入年月日

2022 年 3 月 1 日

4. とよた S D G s パートナー登録証

2019 年 11 月 29 日

5. 産業廃棄物運搬量

第 45 期分 (2023 年 4 月～2024 年 3 月)

産業廃棄物収集運搬量

(1)	廃油	1,519,380t
(2)	汚泥	3,472,330t
(3)	廃アルカリ (普通)	799,140t
(4)	廃アルカリ (特管)	219,470t
(5)	廃酸 (普通)	819,710t
(6)	廃酸 (特管)	261,330t
(7)	合計	7,091,360t

3. 許可内容

	許可及び登録の内容	許可登録番号	許可年月日	許可の有効期限
愛知県	産業廃棄物収集運搬業 (1) 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、 ガラスくず・コンクリートくず、及び陶磁器くず 以上 6 品目 (2) 特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定 有害廃油、特定有害汚泥、特定有害廃酸、特定有害 廃アルカリ 以上 34 品目	02300000593	平成元年 11 月 24 日 平成 5 年 10 月 6 日	令和 11 年 11 月 15 日 令和 10 年 10 月 5 日
岐阜県	産業廃棄物収集運搬業 (1) 積替え・保管を除く 汚泥、廃プラスチック類、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上 5 品目 (2) 特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有 害ばいじん、特定有害廃油、特定有害汚泥、特定有害 廃酸、特定有害廃アルカリ 以上 8 品目	02100000593	平成 9 年 3 月 18 日 平成 11 年 9 月 28 日	令和 9 年 3 月 17 日 令和 11 年 9 月 27 日
三重県	産業廃棄物収集運搬業 (1) 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上 4 品目 (2) 特別産業廃棄物収集運搬業 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ 以上 3 品目	02400000593	平成 9 年 4 月 4 日 平成 11 年 12 月 3 日	令和 9 年 4 月 3 日 令和 11 年 12 月 2 日
静岡県	産業廃棄物収集運搬業 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上 4 品目	02201000593	平成 14 年 5 月 10 日	令和 10 年 5 月 9 日
長野県	産業廃棄物収集運搬業 積替え・保管を除く 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上 4 品目	2009000593	平成 15 年 11 月 10 日	令和 10 年 11 月 9 日

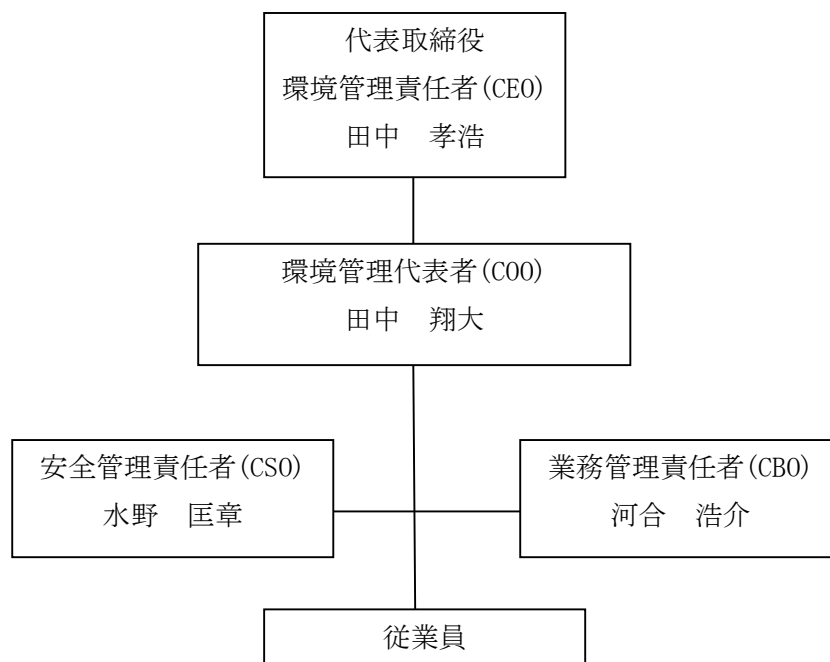
6. 収集運搬車両の種類及び保有台数

- 1) 16t 吸引車 4 台
- 2) 13t 吸引車 2 台
- 3) 4t 吸引車 2 台
- 4) 高圧洗浄車 2 台
- 5) 2tトラック車 2 台
- 6) 管内調査車両 1 台
- 7) ハイブリット営業車 2 台



II. 実施体制

1. エコアクション21の取組体制



2. 環境経営システムの役割と責任

代表取締役 環境管理責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境方針の策定 ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境管理責任者の任命、環境活動に必要な資源の確保 ・環境経営システム全体の評価及び見直し ・環境活動計画書兼管理表の承認
環境管理代表者 業務管理責任者	・環境経営システムの構築及び運用管理 ・環境活動の取組結果を経営責任者へ報告 ・環境活動計画書兼管理表の作成 ・外部からの苦情・要望対応責任 ・環境活動レポート案の作成 ・エコドライブへの巡視と確認
業務管理責任者 計画管理責任者	・環境活動の取組結果を環境管理代表者へ報告 ・社内での教育及び訓練の実施 ・社内での環境方針の提案 ・コピー用紙の再利用の分別 ・社有地の確認及び周辺の巡回
従業員	・環境方針、環境目標を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・自主的、積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 環境経営方針

環境経営方針

当社は廃棄物の収集運搬業・中間処分業及びリサイクル活動を通じ、持続可能な循環型社会の形成、維持に貢献する。

＊当社は環境マネジメントシステムを構築し、その運用や有効性を監査し、レビューすることにより、これの継続的改善を図る。

＊当社に適用される環境法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。

＊当社が持つ廃棄物処理に関する技術や情報を活用し、持続可能な循環型社会の形成に必要な廃棄物の適正処理とリサイクルを推進する。

＊当社は資源の節約やリサイクル、二酸化炭素排出量の削減、各種グリーングッズを使用することで省資源化を推進する。

＊当社が保有する各種設備や設備の管理充実を図り、公害防止を含む環境汚染の防止に努める。

＊当社の社員には、環境ボランティア活動への参加を推奨する。

この環境方針は、当社の全ての従業員に適用すると共に、一般の人々が入手可能な管理を行うものとする。

制定日 2015 年 7 月 25 日

東環工業株式会社

代表取締役 田中孝浩

IV. 環境経営目標

東環工業株式会社 中期環境経営目標

事業年度：4月～翌年3月

項目	単位	2015.4～ 2016.3 (基準)	2023.4～ 2024.3 (目標)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
1. 電力 使用量削減	kWh	14,319.3	13,746.5	13,675	13,603	12,855
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
2. 灯油 使用量削減	L	596.04	572.2	569.2	566.2	535
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
3. LPG 排出量削減	Kg	73	70.08	69.7	69.4	65.6
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
4. ガソリン 使用量削減	L	546.8	524.9	522.1	519.5	490.9
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
5. 軽油 使用量削減	L	67,412.2	64,715.7	64,379	64,042	60,520
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
6. 二酸化炭素 排出量削減	kg -C O ₂	179,876.3	172,681.2	171,782	170,882	161,483
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
7. 一般廃棄物 使用量削減	袋	56	53.8	53.4	53.2	50.3
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
8. 水使用量 削減	m ³	408.4	392	390	388	367
		基準	-4.0%	-4.5%	-5.0%	-5.5%
9. グリーン購 入品目の向上	品数	108	145	150	150	150
		基準				
10. 地域貢活 動(道路清掃)	毎週 (回)	2	4	4	4	4
11. 各車両の点 検及び整備	毎週 (回)	2	4	4	4	4

電力事業者調整後排出係数 0.472 kg-CO₂/Kwh (2017年度中部電力㈱)

*1：化学物質については、PRTR法に該当する物の取り扱いはありません。

V. 環境経営計画

作成日 2023 年 3 月 20 日

環境経営計画

取組項目	具体的活動内容
1. 電力使用量の削減	・使用箇所での使用に心掛ける。 ・社員退社後、不要な照明を消灯する。 ・P C の使用後は電源を切る。 ・エアコンの設定温度を冷房 28℃、暖房 20℃とする。 ・街灯及び社内の節電を全員で心掛ける。
2. ～5. 燃料使用量の削減	・運行ルートを再度確認する。 ・車両の確認を常時行う。 ・車間距離を十分とり、加速・減速の少ない運転をする。 ・経済運行に乗務員全員で取り組む。 ・エアコンの使用は適切に、設定温度を管理する。 ・点検整備をし、車輛を維持する。 ・定期的に空気圧チェックをする。 ・燃料タンク周辺の適度な清掃を行い漏洩の確認をする。 ・車両の無用なアイドリングをやめる。
6. 二酸化炭素排出量の削減	・上記2～5の活動による。
7. 一般廃棄物排出量の削減	・廃棄物の分別を徹底し、資源化する。 ・事務所内に分別ボックスを設置する。
8. 水使用量の削減	・手洗い等使用時は効率的に行うようにする。 ・洗車する際ノズルの取り付けを実施して継続する。
9. グリーン購入率の向上	・エコマーク品・グリーンマーク品の優先購入をする。 ・購入物品の管理を徹底する。
10. 地域貢献活動	・会社周辺の道路を可能な限り清掃する。 ・定期的に行われる地域の清掃運動に積極的に参加する。
11. 各車両の点検及び整備	・車両の点検を行い、不備がないか確認する。 ・オイル等の漏洩で公害汚染を常時点検しながら防ぐ。 ・車両の備品から薬品等漏洩がないか常時確認の実施。

※上記に対してスケジュール等は通年実行する事。

対象者 : 環境管理代表者 田中 翔大
 業務・安全・計画管理責任者 水野匡章 河合浩介
 実施担当者 従業員全員

VI. 実績

短期環境目標と実績

取組み期間

R4(2023)年4月1日～R5(2024)年3月31日

項 目	単位	R4 年 4 月 ～R5 年 3 月 目標	R4 年 4 月 ～R5 年 3 月 実績	達成率 (%)	評価
1. 電力 使用量削減	kWh	13,746.5	9,682	141.9	達成
2. 灯油 使用量削減	L	572.2	355	161.2	達成
3. LPG 使用量削減	kg	70.08	64.68	108.3	達成
4. ガソリン 使用量削減	L	524.9	490.4	107	達成
5. 軽油 使用量削減	L	64,715.7	63,976.2	101.6	達成
6. 二酸化炭素 排出量削減	Kg-Co2	172,681.2	171,844	100.4	達成
7. 一般廃棄物 使用量削減	袋	53.8	49	109.8	達成
8. 水使用量 削減	m ³	392	331.8	118.1	達成
9. グリーン購入 率の向上	品数	145	173	119.3	達成
10. 地域貢献活動 (道路清掃活動)	回 (毎週)	4	4	100	達成
11. 各車両の点検 及び整備	回 (毎週)	4	4	100	達成

[電力排出係数は、3年間同じ係数を使用し算出する]

電力事業者調整後排出係数 0.472 kg-CO2/kWh (2017 年度中部電力㈱)

VII. 環境活動の取組み結果

環境目標の達成状況および環境活動計画の実施状況の評価 および未達成の場合の今後の今年度の取組み

環境目標項目	達成状況	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の今年度環境活動 計画への追加・変更
1. 電力使用量の削減	達成	・ 冬季、エアコンの使用を控えた。 ・ 退出時、消灯の徹底。	・ 通年、退出時の消灯及びLED 導入に努める。 ・ エアコンの使用を考慮。
2. 灯油使用量の削減	達成	・ 灯油使用機材を電力に変更。 ・ 再利用原料の購入。	・ 引き続き計画を継続する。 ・ 作業灯油のリサイクル率向上。
3. LPG 使用量の削減	達成	・ 湯の使用頻度を低減。 ・ 手洗いでのごまめな切り替えを実施。	・ 今後も継続の実施。 ・ 重点項目として今後も意識して行う。
4. ガソリン 使用量の削減	達成	・ 作業機材を新機材へ導入。 ・ 社用車をハイブリットへ変更。	・ 新機材導入の為、今後も継続を行う。
5. 軽油 使用量の削減	達成	・ 経済運行の為、ルートの見直しを図った。 ・ 大型車両も現社会に適用車両へ変更。	・ エコドライブ継続運用。 ・ 運行ルートの再度確認。 ・ 燃費向上を意識。 ・ 遠方にて業務改革。
6. 二酸化炭素 排出量削減	達成	・ 全取り組みへの社員全員の心掛け及び徹底をした為、削減及び数値を下げれた。	・ 上記対応を通年行う。 ・ 上記に対して再確認と意識向上する。
7. 一般廃棄物 使用量の削減	達成	・ 今後は更なる分別、リサイクルに努める。	・ 再利用を常に検討。 ・ 分別を必ず行う。
8. 水使用量削減	達成	・ 洗車の効率の変更を行った。	・ 今後も継続の実施。 ・ 節水対策を行う。
9. グリーン購入率の向上	達成	・ 可能な限りはグリーン購入に心掛ける。	・ 今後も継続実施。
10. 地域貢献活動 (道路清掃活動)	達成	・ 毎週周辺道路の清掃及び、周囲の確認をする。	・ 今後も継続実施。
11. 各車両の点検及び整備	達成	・ 各日、担当運転手及び担当責任者の点検が行き届き公害汚染を防げた。	・ 今後も常時確認及び点検を社内全体で継続する。

VIII. 環境関連遵法性評価

環境関連法規等遵守評価表

見直し・評価日：2024 年 4 月 20 日

作成者及び遵守評価者： 田中 翔大

適用法規	該当設備施設	法規の要求事項	評価結果
廃棄物処理及び清掃に関する法律	[収集運搬業者として] (汚泥, 廃油, その他廃棄物) ・ 産業廃棄物 ・ 特別管理産業廃棄物	車両保管場所の順守	○
		運搬車輛への表示、マニフェスト 携帯	○
		収集運搬業許可証の更新	○
		飛散防止等確認と見直し	○
		排出事業者処分業者との契約	○
豊田市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	運行ルート・緊急連絡網の携帯	油漏れ対策として吸着マット、中和剤、洗浄剤、緊急連絡網の設置	○
豊田市の環境を守り育てる条例	収集運搬業者として	アイドリングストップ 産業廃棄物の的確な運搬 公害汚染防止対策	○
リサイクル法	パソコン	長期使用、再生資源の努力義務、適正処理	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫 洗濯機	買換時リサイクル料負担、適正処理	○
自動車リサイクル法	吸引車・洗浄車・機材車	車検又は買換時リサイクル料負担、適正処理	○
道路運送車両法	運送車両	車検	○
自動車 NO _x ・PM 法	吸引車・洗浄車・機材車	車検時検査	○
フロン排出抑制法	エアコン室内機・室外機	簡易点検	○
消防法	車庫・倉庫	消火器点検	○

[環境関連法規への違反、訴訟等の有無]

環境関連法規に対する遵守状況は、確認・調査したところ、違反はなく、全て適合しております。また、関係当局より、違反等の指摘、控訴は、過去3年間ありませんでした

IX. 代表者による全体の評価と見直し

本年度の会社の業績については、コロナ禍の影響も多少落ち着き昨年比増収となりました。次年度は状況をよく見極めて細かな対策を立ながら削減取組みをしていきたいと思ひます。当社をとりまく最近の経済情勢及び環境情勢は変化しており、この先のエコアクションへの取組みも、その変化する状況に応じた取組みが要求される事になると予想されます。重要な事は、成果をあげていた項目が未達成となった時の対応であり、変化する環境下でまず要因分析をしっかりと実施し、真因を見つける事です。

環境保全に寄与することは会社の責務であります。今後は、更なる業務の効率化を図り、業務の増減に関わらず環境負荷を増加させない体質に改善 できるよう、社員一人ひとりの意識付けをさらに高めていきたいと思ひます。

それぞれの環境負荷の検証を意識することによって、二酸化炭素排出源の多くを占めるあらゆる項目で削減することができましたが、更なる原因の検証により、年間を通しての目標達成に努めてまいります。

今後も効率的な使用方法により使用量は最小限に抑えながら業務の効率にも繋げていきます。

企業活動を行う上で環境活動はとても大切な位置づけです。産業廃棄物収集運搬業として出来る事、環境への細やかな配慮や地域社会への貢献をこれからも引続き継続して参ります。

—さらなる進化へ—

2025 年 4 月 15 日
東環工業株式会社
代表取締役 田中 孝浩